

市議会だより

発行/下妻市議会 発行責任者/議長 廣瀬 榮 編集/広報広聴委員会
〒304-8501 下妻市本城町2-22 電話(0296)43-2111(代) 内線1110~1112

今月号のあんない

就任のごあいさつ	2
各委員会の構成	2~3
定例会	4
一般質問	5~11
議会日誌	12
次回定例会予定	12



素直な心を持ちよさや能力を進んで発揮して
ともに輝く子どもを育てる



~学校紹介~

【総上小学校】



総上小学校は、全校児童136名の小規模校です。休み時間には学年に関係なくドッジボールやサッカー、鬼ごっこや一輪車などで遊んでいます。今年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの行事を縮小したり時期を変更したりしての実施となりました。運動会や校内持久走大会、修学旅行等の学校行事は、感染症の落ち着いた時期に密を避けながら実施することができました。今できる最善を考え、子供たちのアイデアも生かしながら、協力してよりよい学校生活を築こうとする態度が育ちました。

これからも、「③れあい ⑤さえあい ⑥んしゃしあい ⑦みんなで伸びる総上っ子」のスローガンのもと、家庭や地域の方々と手を取り合って、子供たちの健やかな成長のための支援に努めたいと思います。

令和三年 第四回定例会

議会の構成が決定しました

就任のごあいさつ

市民の皆様には平素より市議会に対しまして、特段のご理解とご協力を賜り、心より御礼申し上げます。

このたび、12月議会におきまして、議員各位のご推挙をいただき、副議長に就任いたしました。身に余る光栄であり、大役を仰せつかった重大さを痛感する次第であります。これまでの議員経験を踏まえ、市議会においては、議員各位のご協力を得ながら、廣瀬議長を補佐して参る所存です。

今後とも、市民の皆様には市議会へのなお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



副議長
程塚 裕行

総務委員会



岡田 正美



程塚 智則
(副委員長)



小竹 薫
(委員長)



平井 誠



田中 昭一



須藤 豊次



塚越 節

議会運営委員会

篠島昌之(委員長)
増田省吾(副委員長)
端茂樹
原部司
須藤豊次
田中昭一

広報広聴委員会

程塚裕行(委員長)
小竹薫(副委員長)
矢島博明
山中祐子
篠島昌之

政治倫理推進委員会

平井誠(委員長)
斯波元気(副委員長)
宇梶浩太
矢島博明
小塚節



浅野 通生



宇梶 浩太
(副委員長)



山中 祐子
(委員長)

文教厚生委員会



増田 省吾



原部 司



廣瀬 榮



斯波 元気



木村 穂摘



鈴木 牧
(副委員長)



矢島 博明
(委員長)

経済建設委員会



篠島 昌之



程塚 裕行



端 茂樹

こんなことが決まりました

令和3年 第4回定例会 議決一覧表

事件の番号	件名	内容	議決月日 結果
報告 第13号	専決処分の報告について「損害賠償について」	道路管理に係る事故による損害賠償金の支払について専決処分したもの	12.6 報告のみ
議案 第47号	下妻市太陽光発電設備の適正な設置及び管理に関する条例の制定について	太陽光発電設備の設置区域及びその周辺地域における災害の発生を防止し、市民の安全と安心を確保するため、太陽光発電設備を設置する事業者に対し、設備の適正な設置及び維持管理を義務付けるもの	12.16 原案可決
議案 第48号	下妻市国民健康保険条例の一部改正について	健康保険法施行令等の一部改正に伴い、出産育児一時金の支給額を40万4,000円から40万8,000円に引き上げるほか、所要の改正を行うもの	12.16 原案可決
議案 第49号	下妻市国民健康保険税条例の一部改正について	茨城県国民健康保険運営方針の改定を受け、国民健康保険税の算定方式を4方式（所得割・資産割・均等割・平等割）から2方式（所得割・均等割）に変更するほか、所要の改正を行うもの	12.16 原案可決
議案 第50号	下妻市公共下水道事業受益者負担に関する条例の一部改正について	下妻東部処理区第1負担区の受益者負担金の額を定めるもの	12.16 原案可決
議案 第51号	令和3年度下妻市一般会計補正予算(第6号)について	下妻小学校プール大規模改修事業費の計上等により4億683万3,000円を増額するもの	12.16 原案可決
議案 第52号	令和3年度下妻市介護保険特別会計補正予算(第2号)について	保険給付費の増額等により2,070万3,000円を増額するもの	12.16 原案可決
議案 第53号	令和3年度下妻市下水道事業会計補正予算(第1号)について	収益的収入において、区域外排除負担金を8,962万6,000円増額するもの	12.16 原案可決
議案 第55号	令和3年度下妻市一般会計補正予算(第7号)について	子育て世帯への臨時特別給付金を国の予備費等を活用して早期に支給することが閣議決定されたことを受け、3億2,666万7,000円を増額するもの	12.16 原案可決

人 事 議 案

議案 第54号	下妻市及び下妻地方広域事務組合公平委員会委員の選任について	現下妻市及び下妻地方広域事務組合公平委員会委員である根本建治氏の任期が満了することから、後任として横田芳宏氏を委員に選任することについて、議会の同意を求めるもの	12.16 同 意
------------	-------------------------------	--	--------------

令和3年 第4回定例会 賛否が分かれた案件

事件の 番号	浅野 通生	木村 穂摘	程塚 智則	鈴木 牧	端 茂樹	宇梶 浩太	矢島 博明	岡田 正美	塚越 節	程塚 裕行	斯波 元気	小竹 薫	廣瀬 榮	原部 司	須藤 豊次	山中 祐子	増田 省吾	田中 昭一	平井 誠	篠島 昌之	結果	
議案 第49号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	×	○	可決
議案 第50号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	×	○	可決

※○：賛成 ×：反対 欠：欠席 除：除斥 棄：棄権

※除斥とは、自己の一身上に関する事件について議事に参与できないこと

※議長（廣瀬 榮）は採決に加わりません

令和三年第四回定例会

一般質問通告書

今定例会では、新型コロナウイルス感染症対策の観点から、一般質問の時間を60分から45分に短縮して行われ、12名の議員から市政各般についての一般質問が展開されました。要旨は、次のとおりです。

一般質問の
YouTube録画配信



一般質問者の氏名・項目は次のとおりです。
(通告順)

1 須藤 豊次 議員

- 1 下妻市長の権限に属する事務の一部を臨時に代理するものを定める規定について
- 2 交通弱者対策になっていないコミュニティバス、地域公共交通の在り方について
- 3 下妻市民文化会館の休館について
- 4 関東東北豪雨災害で被災したままのビアスパークの農園について

2 岡田 正美 議員

- 1 菊池博市長の市政運営の総括と今後について
- 2 ふるさと納税の経過と今後について

3 宇梶 浩太 議員

- 1 下妻駅東市営駐車場について
- 2 下妻駅東 駅前整備について

4 原部 司 議員

- 1 長期化するコロナ禍で市内事業者の現状と今後の支援事業について

5 平井 誠 議員

- 1 生活困窮者への支援策について
- 2 高齢者の補聴器購入費助成制度の実施を求めて
- 3 街路樹の管理について

6 鈴木 牧 議員

- 1 オリンピック・パラリンピックホストタウンとしての今後について
- 2 新規移住者の定住促進について

7 山中 祐子 議員

- 1 子宮頸がんワクチン接種のキャッチアップについて
- 2 加齢性難聴者への補聴器購入に対する補助について
- 3 「しもつま元気ポイント事業」について
- 4 図書館事業について

8 田中 昭一 議員

- 1 千代川地区コミュニティバス実証運行について

9 斯波 元気 議員

- 1 各施設設置管理条例の公序良俗規定の解釈について
- 2 選挙運動の個人演説会等を行うことができる施設について

10 塚越 節 議員

- 1 アフターコロナを見据えて、ビアスパーク再構築のための一考察

11 木村 穂摘 議員

- 1 子どもの安全について

12 程塚 智則 議員

- 1 Waitaidroomしもつまスケートボード場の活用について
- 2 児童・生徒の通学の負担軽減について
- 3 野焼き(屋外焼却)の禁止について

※令和2年第3回定例会から、インターネット映像配信サービス「YouTube」を利用して一般質問の録画配信を始めました。



須藤豊次 議員
【一問一答方式】

下妻市民文化会館の休館について

質問 本市の文化、教養の発信の場として長年愛されてきた下妻市民文化会館が休館して2年が経つ。検討状況と今後の見通しについて伺う。

答弁 下妻市民文化会館は、築後46年が経過し、各種設備の劣化が深刻化しているとともに、耐震性能の不足、大ホールの吊天井の落下の危険性、屋上防水の劣化による雨漏り、非常用発電機などの消防設備の不具合による消防法抵触など、利用者の安全性が確保できない状況であることから、令和2年1月末で閉館している。

文化施設の在り方については、昨年度より改めて検討を開始し、建物本体や設備等の現状分析、他自治体施設の調査、大規模改修を



下妻市民文化会館の方向性については、アフターコロナを見据え、慎重に検討していく

実施した施設の視察など協議を重ねてきたが、現時点でコロナ禍前の社会に戻るのか見通せない中で、住民の生活意識や行動の変化も視野に入れて考え、特に集会施設である文化会館の在り方の結論を出すことは非常に難しい状況にある。また、市の財政状況を考慮しても、人口減少や少子高齢化の進行による社会保障費の増大や、新庁舎建設等の大規模建設事業に伴う元利償還などの歳出の増加や合併算定替の終了、さらに人口減少やコロナショックによる市税収入への影響も懸念している。このため、施設の方向性については、アフターコロナを見据え、慎重に検討していきたい。



岡田正義 議員
【一括方式】

菊池博市長の市政運営の総括と今後について

質問 菊池市長による市政運営4年間を振り返り総括し、今後の方針を伺う。

答弁 市長就任時に掲げた5つの施策「市民が主役のまちづくり」「元気な下妻づくり」「子育て・教育環境の向上と高齢者・障害者ややさしい地域づくり」「安心・安全なまちづくり」「行政改革の推進」を進め、持続可能なまちづくりの実現に向けてチャレンジしてきた。

主な事業としては、砂沼サンピーチの跡地利用について、高質なアウトドア拠点をコンセプトとした民間活力による新たな施設へと道筋をつけることができた。また、ビアスパークしもつまの運営を民間委託へ転換し、大幅な経費節減につながられた。そのほか、大手



食料品等の購入が困難な方を支援する取組として開始した移動スーパー

企業を誘致し鯨工業団地が全区画完売となり、さらに新工業団地の整備に動き出している。ふるさと納税では、平成29年度の寄附額から本年度は11月末時点で15倍の大幅増を達成している。また、交通の手段を持たない方々の環境を整備すべく、移動スーパールの開始や、シモンちゃんバス、筑西・下妻広域連携バスに加え、千代川地区のコミュニティバスの短期実証運行の実施、高齢者福祉タクシー助成券の使用法の拡充を図った。

次の市長選に関しては、引き続き市政のかじ取りを担う決意で臨む所存であり、一歩ずつではあるが、着実に市民の皆様の期待に添えていきたいと考えている。



宇梶浩太 議員

【一問一答方式】

下妻駅東 駅前整備について

質問

関東鉄道より東側である鯨地区に新工業団地が建設中であり、また、古沢・袋畑地区にも新たな工業団地の計画が上がっているところである。そのような中で、下妻の玄関口ともいえる下妻駅東口駅前の今後の整備ビジョンや発展計画について、官民連携によるエリアマネジメントの導入を目指していただきたいと考えるが見解を伺う。

答弁

下妻駅より東側では古沢・袋畑地区における新たな工業団地整備が計画され、新庁舎の建設も進んでいるため、市の玄関口としてふさわしい在り方の検討が必要であると認識している。



引き続き下妻駅周辺の調査、研究を行っていく

本市では、平成30年度から実施した地方再生コンパクトシティモデル事業において、市内関係各課によるワーキンググループを組織し、下妻駅東エリア全体の課題整理等を行った経緯はあるが、具体的な整備ビジョンの策定には至っていない。

今後、引き続き下妻駅周辺についての調査・研究を行っていきたいと考えている。



原部 司 議員

【二括方式】

長期化するコロナ禍で 市内事業者の現状と今後の支援事業について

質問

新型コロナウイルス感染症対策についてどのような認識を持ち、今後はどのような経済支援を考えているか、本市独自の支援対策のさらなる事業の考えはあるか伺う。また、今後下妻市商工会をはじめ、関係機関と協力し市民ニーズのアンケートなどを実施してはと思うがその考えはあるか伺う。

答弁

新型コロナウイルスの影響に関しては、長期化の様相を呈し、依然として収束の見通しが立たない状況であり、今後も引き続き感染状況と経済の動向に注視しながら、市内事業者に対する事業支援並びに市民への消費喚起を促す施策について、調査・研究をしていく。

本市独自の追加支援策については、本定例会に提出の議案第51号、一般会計補正予算第6号に「事業者応援一時金」を盛り込んでおり、この事業は、新型コロナウイルスによる緊急事態宣言などに伴い、飲食店の営業時間短縮要請や外出自粛要請等の影響を受け、国の一時支援金等の受給を受けた市内中小法人や個人事業者に対し、さらに一律10万円を支給し事業継続を支援するもので、今期定例会で可決後、速やかに交付手続きが執行できるよう準備を進めている。

市民ニーズのアンケート調査の実施については現在予定していないが、経済対策をより効果的に実施するため、様々な機会を通して引き続き市民ニーズの把握に努めていきたいと考えている。



市内事業者に対する事業継続の支援について調査、研究をしていく



平井 誠 議員
〔一括方式〕

生活困窮者への支援策
について

質問 本市独自の生活支援策や下妻市社会福祉協議会の食糧支援事業に対し物品や財政的な支援はできないか伺う。また、生活困窮者専用の相談窓口を作って市民の声を聞き、市政に反映していただきたい。

答弁 新型コロナウイルスの影響により生活に困窮する世帯に対し、茨城県社会福祉協議会より、緊急小口資金と総合支援資金の特例貸付を行っている。さらに困窮状態が続く場合は、新型コロナウイルス感染症生活困窮者自立支援金を実施している。市独自の施策はないが、既存の施策を最大限に活用し今後も支援に努めていく。

下妻市社会福祉協議会の食糧支援事業は、企業、団体及び市民か



社会福祉協議会で行った食糧支援事業の様子

ら、まだ食べられるのに様々な理由で処分されてしまう食品等の支援を受け実施している。市では、ひとり親世帯等の対象世帯への通知の発送の協力をしているが、今後は防災備蓄品の食料等を適切に活用したいと考えている。

生活困窮者専用の相談窓口については、生活困窮者自立支援法に基づき自立相談支援事業を下妻市社会福祉協議会に委託し、実施している。また、市の相談体制は分野ごとに相談窓口を設けているが、必要に応じて関連部署や関係機関に取り次ぎながら対応している。なお、本年度から福祉課では生活保護面接相談員を1名から2名に増員し、複雑化する生活課題に寄り添う支援を強化している。



鈴木 牧 議員
〔一括方式〕

オリンピック・パラリンピックホストタウンとしての今後について

質問 交流事業を通してスポーツの推進・共生社会の実現・グローバル化の推進等の検証について伺う。

答弁 今回のホストタウン事業では、新型コロナウイルスの影響を受け制限されたが、講演会やオンライン交流、また、市民活動団体が中核を担った様々な取組や児童生徒による交流等から、東京大会を身近に感じる機会となるとともに、国際理解が深まるなど、一定の成果は得られた。

この事業により芽生えたブルンジとの交流は、新しい気づきや価値観が生まれる等の効果があると



今後も児童生徒による交流の実施や市民活動団体による取組の支援を実施していく

考え、地域の国際化の継続のため、児童生徒、市民活動団体による交流や取組を今後も支援していく。

本市では、第6次下妻市総合計画に国際交流への対応を行政の役割の一つに位置付け、英語教育のまちづくりを推進し、小・中学生に向けた英語教育は特に重要であると考え、ネイティブ英語指導員の正職員採用や英語検定料補助事業、中学生英語キャンプ補助金等の事業に取組んでいる。また、市内在住の外国人との交流については、国際交流の推進に取組むボランティア団体と市民活動団体との協働による取組を含め、効果的な国際交流に関する施策について引き続き検討し、多文化共生社会の実現に向けて取組んでいきたい。



山中祐子 議員

〔二括方式〕

子宮頸がんワクチン接種のキャッチアップについて

質問 定期接種対象の全学年への郵送通知の実施について、また、勸奨中止の間、接種を逃した方への救済措置が実施された場合の郵送通知の実施について伺う。

答弁 平成25年度から定期予防接種として開始された子宮頸がんワクチンは、積極的勸奨を差し控える期間が8年続いていたが、最新の知見により令和4年度から勸奨が再開されることになった。本市では、令和2年度からは、ワクチンの安全性等の情報提供を行い、よく理解した上で接種の検討や判断をするよう、対象者と保護者に対しホームページやお知らせ版等で周知を図ってきた。また、定期予防接種の最終年となる、

高校1年生相当年齢の対象者には個別通知をし、本年度は標準的接種年齢の中学1年生にも個別通知を実施した。令和4年度以降は、定期予防接種対象者とその保護者に対し個別通知をし、確実な周知に努めていく。

勸奨中止の間、接種を逃した方への救済措置が実施された場合の郵送通知については、現在、厚生労働省のワクチン分科会にて、公費による接種機会の拡大に向け対象者や期間等が検討されているが、本市では、国で検討している対象者の年代（平成9年から平成17年生まれ）の方、約千八百人の接種に関わる費用を来年度予算に計上している。国の方針が決定次第、指針に沿って実施していく。



キャッチアップ接種について、国の指針に沿って実施していく。



田中昭一 議員

〔一問一答方式〕

千代川地区コミュニティバス実証運行について

質問 実証運行が始まり、1か月経過したが、乗降客数と運行ルートの策定の経緯や変更等について伺う。また、令和4年3月31日の期限より前の運行取りやめや、延長はあるか伺う。

答弁 11月から実証運行を開始し、利用者数は1か月間で181人、1便当たり0・43人になる。

運行ルートについては、下妻市地域公共交通活性化協議会の中で、自治区長や市議会などの各種団体の代表者や学識経験者などで分科会を設置し、会議を開催し検討、選定し、国土交通省関東運輸局茨城運輸支局やつくば市などの関係機関と調整を行い策定した。

運行ルートの変更については、下妻市地域公共交通活性化協議会

で協議を調えた後、運行事業者が国土交通省関東運輸局茨城運輸支局に変更認可の申請をすることになり、認可には最短でも1か月程度必要となるため、今回の期間内では困難であると考えている。

期限の短縮や延長については、3月までの利用状況や、利用者及び沿線住民への住民アンケート調査等の結果を分析し、次年度以降、国や県の補助金の活用なども検討したいと考えているため、現時点でその予定はない。

なお、今回の短期実証運行の分析を踏まえ、市内コミュニティバスの路線再編や新たな手法の導入など、総合的な地域公共交通施策を検討していきたいと考えている。



令和3年11月から実証運行をしている千代川地区コミュニティバス



斯波元氣 議員
【一問一答方式】

各施設設置管理条例の
公序良俗規定の解釈に
ついて

質問

集会利用を主たる目的とする施設の公序良俗規定の解釈は判例（泉佐野市民会館事件）に従い、「集会の自由を保障することの重要性よりも、集会が開かれることによって、人の生命、身体又は財産が侵害され、公共の安全が損なわれる危険を回避し、防止することの必要性が優越する場合をいうもの」と限定して解釈すべきであり、その危険性の程度としては、「単に危険な事態を生ずる蓋然性があるというだけでは足りず、明らかな差し迫った危険の発生が具体的に予見されることが必要である」と捉えるべきと考えるが、見解を伺う。

答弁

本市の多くの公の施設では、その設置及び管理



各施設の管理権者が客観的事実に照らし合わせて判断していく

に関する条例等において、施設の利用を制限する規定の一つに公序良俗規定を定めている。この規定の適用に当たっては、利用が単に政治的であるという理由のみをもって、利用の制限を行うことはできないものと解釈している。各施設の利用の許可に当たり、公序良俗規定の適用の可否については、憲法や地方自治法、各施設の条例や規則の他、判例等を基に、各施設の管理権者が客観的事実に照らし合わせて判断をしていく。



塚越 節 議員
【一問一答方式】

アフターコロナを見据えて、ビアスパーク再構築のための一考察

質問

観光資源として、基幹産業である農業を積極的に発信すべきである。本市の農業産出額の種別提示と現状分析について伺う。また、SDGs理念に基づいた「水田・畑作・果樹栽培・畜産農業を結ぶ循環型有機農業」の実証実験施設機能をビアスパーク農場に構築すべきと考えるが見解を伺う。

答弁

農林水産省の農林業センサスによると、本市の令和元年の農業産出額は120億円で、県内44市町村では13位、全国1,719市区町村では186位となる。主なものは、米が23億3千万円で県内12位、野菜が14億8千万円で22位、果実が10億6千万円で4位、養豚は4億3千万円で

2位、養鶏が27億9千万円で7位となる。これらのデータを基に、畜産競争力強化対策整備事業の実施や産地パワーアップ事業等の補助事業、6次産業化の推進を図ってきたが、農業は本市の基幹産業であり、観光資源として多くの可能性を有しているため、今後も本市農業の振興に向けた施策を展開していく。

ビアスパークしもつまの循環型有機農業に関しては、現在部分委託されている団体が、SDGsの理念に基づく有意義な取組と考えられる有機肥料を使用し営農しているが、ビアスパークしもつまは、住宅地や公園が近接し、居住者や利用者に対し、より配慮する必要があるため、関係機関と連携を図りながら慎重に対応していく。



農園を活用した白菜の収穫体験の様子



木村穂摘 議員

【一問一答方式】

子どもの安全について

質問 小中学校の登下校中の事故や事件の実態と緊急時に子どもが駆け込める子どもを守る110番の家について伺う。また、PTA立哨パトロールや見守りボランティア、防犯ボランティアパトロール(ながら見守り)等について伺う。

答弁 昨年度の登下校中の交通事故は、小学校1件、中学校3件、不審者情報は23件でスマートフォンでの写真撮影事案がほとんどであった。

子どもを守る110番の家は、本市では861件の登録があり、毎年4月に各学校が継続の有無の確認等を行い、教員が子ども達と一緒に通学路を歩き、場所の確認と危険を感じた際には助けを求めよう指導している。



子どもたちが安全・安心に登下校ができるよう、地域の方や関係機関等と協力していく

見守り活動の主なものは、立哨付き添い、ながら見守りのほか、PTAパトロールや、下校時刻に合わせた防災行政無線の放送でお願いをしている。防犯ボランティアは高齢化に伴い減少傾向にあるが、見守りボランティアは新入生の家庭に依頼するなど新規協力者の確保に努め増加傾向にある。また、8月に日本郵便株式会社と包括連携協定を締結し、配達等の業務中に不審者の発見情報があった場合には報告・通報していただく体制を築いた。

今後とも、ボランティアの確保に努め、地域、関係機関、企業等の支援を得ながら、登下校の安全確保に取り組んでいく。



程塚智則 議員

【一問一答方式】

野焼き(屋外焼却)の禁止について

質問 禁止される野焼きと許される野焼きはどのようなものか、市が把握する野焼きの状況や、通報・苦情等の対応と処罰された事例はあるか伺う。また、野焼きを行わないための公的補助があるか伺う。

答弁 野焼きとは、適法な焼却施設以外で廃棄物(ごみ)を燃やすことをいい、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」で原則禁止とされ、家庭や事業所から出た廃棄物の焼却は、その種類を問わず野焼きになる。例外として、お焚き上げ等の地域の行事で慣習的なもの、営農のためにやむを得ないものとして病害虫駆除のための稲わら等の焼却、暖を取るための軽微なたき火が規定されている。



地域行事として慣習的に行われ、例外で認められているどんと焼き

市が対応した件数は、昨年度は61件、今年度は11月末で37件で、剪定した枝葉や刈草、もみ殻や稲わらの焼却の際に出る煙への苦情が多く、適切に対応するよう指導した。処罰された事例は、下妻警察署に確認したところ罰金を科す事例はあった。また、認められる焼却行為でも、苦情がある場合や周辺環境へ影響が著しい場合には中止や改善を指導する場合はある。公的補助については、野焼きは法律で原則禁止のため、野焼きを行わないことを目的とした補助はない。なお、梨農家の作業効率等の向上を目的に果樹組合連合会に補助を行い、剪定後の枝処理用の粉砕機を導入した結果、剪定枝焼却の減少につながった事例はある。

議会日誌

11月

- 5日 茨城県西市議会議長会事務局長会
- 11日 茨城県西市議会議長会第2回定例会
- 22日 全国市議会議長会地方財政委員会
- 29日 月例会
- 議会運営委員会
- 議会改革検討委員会

12月

- 3日～16日 第4回下妻市議会定例会
- 3日 本会議 議案上程、説明
- 6日 本会議 議案質疑
- 総務委員会
- 7日 文教厚生委員会
- 8日 経済建設委員会
- 9日 予算特別委員会
- 議会運営委員会
- 13日 本会議 一般質問
- 14日 本会議 一般質問
- 16日 本会議 委員長報告、質疑、討論、採決、閉会
- 全員協議会
- 第1回広報広聴委員会

1月

- 13日 茨城県市議会議長会事務局長会
- 20日 月例会
- 第2回広報広聴委員会
- 26日 茨城県市議会議長会定例会（書面会議）

次回 第1回定例会予定

月日	曜日	日 程
2月25日	金	本 会 議 会 (会期の決定・諸報告・議案上程、説明)
2月28日	月	本 会 議 (議案質疑) 常任委員会 (総務委員会)
3月1日	火	休 会 常任委員会 (文教厚生委員会)
3月2日	水	休 会 常任委員会 (経済建設委員会)
3月3日	木	休 会 予算特別委員会 (補正予算・当初予算)
3月4日	金	休 会 予算特別委員会 (当初予算)
3月7日	月	休 会 予算特別委員会 (当初予算)
3月9日	水	本 会 議 一般質問
3月10日	木	本 会 議 一般質問
3月14日	月	本 会 議 (議案及び請願・陳情に対する委員長報告・質疑・討論・採決) 閉 会

※会期日程は、都合により変更になることがあります。

議会を傍聴しませんか

令和3年第4回定例会では、35名の方の傍聴がありました。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、議場での傍聴を58席から24席とさせていただきます。ご協力いただきありがとうございました。

傍聴は、市議会活動に触れる良い機会です。自分が選んだ議員の活動や市政の方針などを知ることができます。

傍聴をご希望の方は、議会開催日に本庁舎3階議場までお越しください。

また、本会議開催中は、本庁舎1階市民ホールモニターで中継を行っています。(状況により傍聴をご遠慮いただくことがありますので、ご了承ください。)

なお、議場内での飲食・雑談等をご遠慮ください。次回の市議会だよりの発行は令和4年5月10日(火)の予定です。

議会だよりにのご意見などございましたら、下記連絡先までお寄せください。

問合せ先
議会事務局 (0296)43-2111 (内線 1111・1112)



前列右から程塚委員長、小竹副委員長
後列右から山中委員、篠島委員、矢島委員

【広報広聴委員会】
◎委員長
○副委員長
委員

- 程塚 裕行
- 小竹 薫
- 矢島 博明
- 山中 祐子
- 篠島 昌之

令和3年第4回定例会の内容を中心に、新たに決まった各委員会の構成等をお届けしました。
今号は、新しい広報広聴委員による初めての「市議会だよりの」です。また、前号までは表紙と裏表紙のみをカラー印刷していましたが、より見やすい紙面づくりのため、今号から、全ページをカラー印刷に変更いたしました。
これからも委員一同、市民の皆様により一層市政について関心をもっていたただける紙面づくりを目指して活動して参る所存ですので、よろしくお願いたします。

